

政治資金残りあと

178,399円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

前回までの残高	209,075円
印刷代（ピラ印刷代）	14,802円
交通費（駐車場、高速代）	2,200円
雑費（パソコンソフト）	6,279円
通信費（携帯電話代）	5,695円
勉強会会場費差額	1,700円

市政を考える

月刊武松

発行日
99/8/2

第3号

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠
武松政策研究会

駅前ゲームセンター問題！？

駅前ゲームセンター問題は、新聞や署名活動等で多くの方がご存知だと思いますが、小田原駅前旧丸井V.O.X館が、ゲームセンター（業者は*アミューズメント施設と言っています。）になる件です。
*アミューズメント：娯楽

このゲームセンターは、8月上旬にオープンの予定で、既に内外装工事は終了し、ゲーム機もほとんどが設置され、求人も終了しています。

法的手続きについては、市の建築確認は、6月上旬に済んでおり、また、風俗営業法に関しても商業地であり、かつ、学校等から100m以上の距離にあるため、現行法規上は出店可能になっています。後は、県公安委員会の確認が済めば出店という段階にきています。

施設の概要は、1階から3階までがゲームセンター、4階がビリヤード、5階が居酒屋となっています。

この場所は、通学路の途中にあるため、商店経営者や、地元の青少年健全育成会とPTA関係者から議会に対して、出店阻止の陳情が7月中旬と下旬に出ました。それには、PTAを通じて集めた2市8町約1万7000人の署名が添付されていました。

この陳情に対し、個人的には次のような意見を持っています。

1. 青少年健全育成上は、ゲームセンターは無い方がよい。
2. 議員として、立法の立場から考えると現行法規上、出店可能となっているのなら出店可能とすべきだ。（法を守るべきだ。）
3. 出店準備が、ほぼ完了している段階で、ただ市民感情をあおるだけの署名運動に同意できない。
4. 中心市街地活性化のためにも、空き店舗としておく訳にはいかない。
5. 施設を排除することが、本当の意味で、青少年健全育成上ベストとは思わない。

以上を考え、出店後の運用面の陳情であれば採択とし、あくまでも出店阻止の陳情であれば、不採択としたいと考えました。

今回の陳情は、あくまでも出店阻止だったので、福祉文教常任委員会協議会の結論は、「趣旨採択」となりました。

趣旨採択は、陳情の目的や理由を採択しただけであって、陳情の主旨である出店阻止はできないことを文書を付けて陳情者に回答するものです。

陳情者への回答は、通常は「採択」「不採択」だけで、大学の合格通知のようなものです。

議会用語解説第2弾

常任委員会！？

本会議の進行は、基本的に



の順に行われます。

委員会に付託される議案は、補正予算関係、条例、陳情、請願等で、それらの審査を行います。

常任委員会は、小田原市議会の場合、総務民生、福祉文教、経済厚生、都市建設の4つがあり、議員はいずれかの常任委員会に所属しなければなりません。

議案の内容により、担当の委員会が決定され、原則として10名まで一般傍聴も可能です。

常任委員会の雰囲気は、議案により差がありますが、審議よりも勉強会（議員が、初歩的な質問や議案以上の大きな質問を繰り返す。）になってしまっているものもあります。時間的には無駄が多いのかもしれませんが、新人議員にとっては、非常に勉強になります。

常任委員会の審議の結果は、本会議の最終日に、委員長報告として審議結果が報告されます。

また、会期中以外の陳情や報告事項は、常任委員会協議会として審議がなされますが協議会は、一般傍聴することができません。

お忙しいでしょう!?

当選直後はともかく、最近、本当に多くの方に「お忙しいでしょう。」と言われます。裏を返せば、一般の方に議員が普段、何をしているかわからないのではないかと思います。そこで、簡単に説明します。

議員が、議会と委員会に出席するのは1年で約80日です。極論を言ってしまうとそれ以外は、何をしてもかまいません。その80日間の通勤による事故は公務災害となりますが、それ以外の日、市役所への移動中に事故に遭っても公務災害にはなりません。

6月末で会社を退職した後、基本的に平日は、毎日市役所内の会派控室に行っています。

普段の仕事内容は、

1. 市民の方から調査依頼があった件の調査
 2. 陳情に対する関係法令や経緯の調査
 3. 定例会中に配布された資料（厚さ30cm以上）の調査
 4. 市役所内、各部課を周り、情報収集（顔見せ、業務の把握、問題点の共有）
 5. 各委員会への出席と事前調査
 6. 月刊武松の編集、勉強会の資料収集と編集
 7. 会派打合せ
 8. 市主催のイベントへの参加
 9. 球友会練習（市議会対抗の軟式野球で毎水曜日夕方）
- この他にボランティアをやっています。

飲み会も多く（週2回程度）1ヶ月間で体重が5kg増加しました。

The Voice 今までに頂いたご意見から

前略

国府津駅前で貴兄から月刊「武松」第2号を頂きました。貴兄に一票を投じた一人として、コメントを送ります。

立候補されたとき、会社は休職するとのことでしたが、議員として職務に専念するという姿勢から、また「落選」したら「議員を辞めたら」会社に復帰するという姿勢に大きな疑問を感じておりました。

この度、貴兄が会社を辞め、地方自治に全力を注ぐと言うことを知り安堵しました。率直に申し上げて、4年程度では、地方自治の「いろは」をマスターするぐらいでしょう。この際、最低でも5期ぐらいを目標にして勉強し、武松議員としての成果を上げるべきです。

議員として取り上げる問題は、最初は、みじかな託児とか公園等からのスタートでよろしいでしょう。（つまり次の改選時の対応もありますから）しかし、小田原市の財政状況は、借入金が1330億2200万円、対する平成10年の歳入は、632億6330万円で、借入金の返済額は、僅かに61億5300万円です。これでは、20年かかって借金も返済が出来ない。リストラもやっているようですが、もっと見直して収支の改善が出来るところもあるのではないかと・・・このあたりも勉強し、教えて戴ければ幸いです。

私は、一案として、公共工事の一部の延期とか縮小を図ることで、借金財政の改善にむけての努力も必要ではないかと思います。地方は国と違いますから景気浮揚なんて考えることはないと思います。

ついでに、電線類の埋設化は賛成ですが、災害時を考え、ヘリコプターが発着出来るような場所から取り組むことを推奨します。

国府津在住 公務員その他で40年勤務

武松政策研究会を開催します。

名前は堅苦しいですが、中身は柔らかいです。

日時：8月28日（土） 18:00～20:00

場所：小田原市民会館 6F 第3多目的ルーム

テーマ：「中心街」

参加費：1名につき100円

出欠席の連絡は、不要です。当日、直接現地に来てください。

託児室も用意致します。（要連絡） 特に女性の参加を歓迎します。

終了後、懇親会（実費3000円程度）も開催しますので気軽に参加下さい。

